

事業所名

ビレッジキッズふじ

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和6 年

4 月

1 日

法人 (事業所) 理念		三方よし (障がい者よし・地域よし・会社社員よし) ～安心・安全・安泰を創造し、社会提案を行い続ける～			
支援方針		将来に向け、自己の成長を促す活動を主にを行います。挨拶や報告・相談の仕方を身に付ける、時間を守ることや集団の中でルールを守り行動出来る等を習得出来るように、日々の活動の中で行います。また、併設されている就労支援事業所での就労体験やイベント等で他者と関わる機会を作り、身に付けたことを実践し社会の中で生き抜く力を培います。			
営業時間		平日 11 時 00 分から 17 時 30 分まで	休日 8 時 00 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	○健康状態の維持・改善 ○生活習慣や生活リズムの形成 ○基本的な生活スキルの獲得 ○生活におけるマネジメントスキルの育成	来所時・利用時・降所時の体温測定、服薬状況の管理・確認、利用時の健康観察 生活習慣(手洗いうがい、着替え等)を習慣化し、生活リズムの維持・安定を図る 食事や排泄の仕方を身に付ける、買い物体験や家事体験を通じて、整理整頓等の自立スキルを身に付ける 様々な活動の中で学習出来る環境を作る。より生活しやすくなるように、構造化を意識した環境設定		
	運動・感覚	○姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 ○姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 ○身体の移動能力の向上 ○保有する感覚の活用 ○感覚の特性への対応	専門職(作業療法士)による、一人ひとりに合わせた運動や筋力向上に向けたプログラムの立案 個別課題時・集団活動時、本人に合わせた椅子や机を使い正しい姿勢の保持 バランス感覚、身体の強弱・方向の感覚の習得のため、歩行訓練、片足立ち、ジャンピング、ストレッチの実施 感触遊び、動植物との触れ合い、クッキング、リズム運動の実施 五感を感じられるような季節に応じた制作活動や行事の提供		
	認知・行動	○認知の特性についての理解と対応 ○対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ○行動障害への予防及び対応	個別課題や日々の活動の中で、空間・時間等の概念の把握、タイムテーブルの確認による時間の認知形成 一人ひとりの特性に配慮し、写真や絵カード、実物などで情報を提示し、適切な選択が出来るような環境の設定 認知の偏りへの配慮、認知の偏りに対する視点の組直しを実施		
	言語 コミュニケーション	○コミュニケーションの基礎的能力の向上 ○言語の受容と表出  ○コミュニケーション手段の選択と活用 ○状況に応じたコミュニケーション	集団活動やレクリエーションなどの活動の中で、他者と通じ合う楽しさを感じながら、他者との相互的なやりとりの基礎的能力を高める 社会生活技能訓練やディベート等の活動を通して他者の気持ちを知り、自分の気持ちや考えを伝える力を育て、他者とのコミュニケーションを楽しむ  文字、絵カード、指差し、身振り、サイン等を本人に合った手段が適切に選択出来るように、意思伝達の種類を増やす 様々な場面を想定した活動(避難訓練等)を設定し、状況を判断する力を高め、声の大きさや、言葉の使い方を習得する		
	人間関係 社会性	○情緒の安定 ○他者との関わり(人間関係)の形成 ○遊びを通じた社会性の発達 ○自己の理解と行動の調整 ○仲間づくりと集団への参加	自身の行動や言動の特徴を理解し、自身の気持ちを適切な表現で伝えられる方法を知る 遊びの中でのルールや約束を伝え、自分で考えて行動出来る機会を作る ロールプレイやごっこ遊び等を通じて、社会の中で望まれる態度や言動(挨拶、礼儀、お礼、謝罪、マナー)を身に付ける。 自己理解を深め、自ら適切な行動を選択し調整する力を育む 活動時、グループごとに役割を分担し協力して取り組むことで、仲間意識や集団活動への意識を高める		
家族支援		・年間目標(家庭地域との繋がり) 連絡ノートや送迎時に口頭での説明、アプリ等を使って利用時の様子を伝え、保護者との情報共有と情報交換を密に行う。また、定期的な面談に加え家族が気軽に相談できるように日頃から連絡がしやすい状況を作る。虐待の疑いや家族のメンタル状態、経済的な状況の把握を行い、必要に応じて関係機関と連携を図る	移行支援	就労ツアアの年間スケジュールを立て実施する。保護者や利用者本人が参加できる内容にし、見学だけでなく実際に体験する機会も作り、より将来をイメージしやすいような環境を作る。また、定期的な面談を行い、保護者と密に連絡をとりあい、必要であれば関係機関や同法人内の相談支援事業へと繋げていく。	
地域支援・地域連携		・年間目標(家庭地域との繋がり) 日頃から、近隣施設を利用することや、事業所の見学会や地域の方も参加できるイベントを開催し、事業所の存在を知ってもらいながら地域との繋がりを作っていく。	職員の質の向上	・年間目標(専門性向上) 【内部研修】職員が学びたいテーマを題材にして実施する(放デイについて、個別支援計画について、虐待防止について、自己覚知等)また、ケース検討も定期的意行い、統一した支援・対応がとれるように模索していく。 【外部研修】県や市から案内があった研修に参加し、報告会を定例とする。相談支援従事者初任者研修、児童発達支援管理責任者研修、強度行動障害者養成研修(基礎編、実践編)を受講し、面談スキルや対応スキルを習得する。	
主な行事等		季節行事【(外出イベント、七夕、夏祭り、運動会、クリスマス会、進級式・卒業式) その他【J3アスルクラロ沼津のサッカー観戦、ふじクリーンパートナー(地域清掃)、就労体験、防災訓練、不審者訓練】			